

第 31 回島根県対策本部会議の開催結果について

4月28日に標記会議を書面にて開催し、下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

1. 全国の感染拡大状況等を踏まえた県の対応について

- ・令和3年4月28日からの県の対応について、別添「島根県の対応」のとおり決定

(参考)

令和3年4月26日第30回島根県対策本部決定の「島根県の対応」からの変更点

- ①往来を慎重に判断する地域に、県境を越えた不要不急の移動自粛を要請している地域を追加
- ②不要不急の外出自粛を要請している都道府県名の時点修正

第 31 回 島根県対策本部会議

日時：令和 3 年 4 月 2 8 日（金）
（書面開催）

1. 全国の感染拡大状況等を踏まえた県の対応について

島根県の対応(案)

島根県対策本部決定

全国の感染拡大状況等を踏まえ、県民に対し、以下のとおり要請する。

要請の期間は、令和3年5月11日までとする。

1. 緊急事態措置を実施すべき区域である、東京都、京都府、大阪府及び兵庫県との往来を控えること。

まん延防止等重点措置を実施すべき区域である宮城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、愛媛県及び沖縄県との往来を控えること。

この他に、北海道札幌市、和歌山県、香川県、福岡県などのように都道府県が住民に対して、不要不急の外出自粛や、県境を越えた不要不急の移動の自粛を要請している地域との往来については、慎重に判断すること。特に、発熱等の症状がある場合は、往来を控えること。

ただし、やむを得ない仕事や、転勤、就職活動、葬儀、看病・介護などでの往来は、発熱等の症状がある場合を除き、控えて頂く必要はないこと。

2. 職場や家庭での感染を防ぐため、感染リスクが高まる「5つの場面(飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり)」に注意し、引き続き、

- (1) 「三つの密」の回避
- (2) 「人と人との距離の確保」
- (3) 「マスクの着用」
- (4) 「手洗いなどの手指衛生」

など、基本的な感染対策に取り組むこと。

また、発熱や風邪等の症状がある方は、無理をせず仕事や学校を休んで頂き、外出を控え、まずは、かかりつけ医、又はしまね新型コロナウイルス感染症「健康相談コールセンター」に連絡のうえ、早めに受診すること。各職場においても、職員の体調がすぐれない場合はすみやかに医療機関への受診を促すなど、健康管理に努めること。

3. 飲食店の利用について、各店舗において感染症拡大防止対策を徹底してもらうこと、県民の皆様にも、そうした店舗を利用して頂くことを前提として、

- (1) 「県外の方との飲食」は、引き続き、ノンアルコールの場合を含め、県内でも県外でも、控えること。
- (2) 飲食の際の人数を、9人以下とし、県外の方と飲食された方や、県外の方の自宅での宿泊をされた方は、2週間経過するまでは

参加を控えること。

- (3) 時間については、複数の店舗を利用する場合も含めて、合計で1時間30分を限度とすること。
- (4) 歓迎会等、異動や採用に伴い、県外から加わられる方がおられる場合は、この方々が来県されてから2週間を経過した後に、行うこと。
- (5) 「接待を伴う飲食店」については、引き続き、
 - ① 県外での利用を控えること。
 - ② 県内でも、県外の方との利用を控えること。

ただし、いずれの事項も、鳥取県と、生活（通勤、買物等）圏域に属する広島県・山口県の一部の地域については、県内と同様に取り扱う。

4. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点で、適切な室内環境（温度、湿度等）を維持しつつ、十分な換気を行うこと。
5. 感染拡大防止のため、各業界団体が主体となり、業種ごとに実施すべき基本的事項を整理した「感染拡大予防ガイドライン」を再度確認し、実践すること。
6. イベント開催の目安については、別紙の「島根県の対応」によること。

7. 厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）を、感染拡大防止のため、積極的にインストールし、活用すること。
8. 事業所においては、在宅勤務（テレワーク）、時差出勤、自転車通勤など、人との接触を低減する取組を行うこと。
9. 感染した方やその関係者などに対する、インターネットや SNS での誹謗中傷、うわさ話などは厳に慎み、県や市町村などの公的機関が発信する情報に基づき、人権に配慮した冷静な行動をとること。